

第3学年 音楽学習指導案

指導者：

実習者：

1. 日時：令和3(2021)年6月7日(月) 第3限目 (10時45分～11時35分)

2. 対象・場所：第3学年 音楽Ⅱ・Ⅲ、音楽室

3. 実施科目：音楽

4. 単元名：〈Caro mio ben いとしい女(ひと)よ〉

5. 教材

〈Caro mio ben いとしい女(ひと)よ〉

・音楽之友社 『独唱名曲100選』 p.52～53 (2018年)

6. 単元の目標

イタリアの文化について知り、既習の〈O sole mio〉と同じカンツォーネであることを理解できる。〈Caro mio ben〉のイタリア語で書かれている歌詞の内容を理解することができる。音程やリズムを正確に歌い、rの巻き舌やイタリア語の発音を意識して歌うことができる。装飾音符によって生まれる音楽の華やかさを感じ、自分の経験と結びつけたり想像したり場面を思い浮かべながら、甘く切なく感情を込めて表現をすることができる。

7. 単元の指導計画

1 時 間 目	・「Caro moi ben」の楽譜を配布する ・なぜこの曲を題材として選んだかの説明 ・教師が歌って、どんな曲か雰囲気をつかんでもらう ・音取りをする(歌詞ではなくラで) ・イタリア文化についての説明 ・キーボードで弾き歌いの練習 ・感想の記入
2 時 間 目	・歌詞の発音練習 ・rの巻き舌の説明・巻くrの確認 ・歌詞をつけて歌ってみる(少しずつ区切って) ・歌詞の意味を深めるために言葉を調べさせる(タブレット使用) ・恋愛(芸能人や映画や小説なども可)について考える ・感想の記入

3 時 間 目	・歌詞をつけて復習として歌う ・演奏を鑑賞する(男声の音源を使用) ・鑑賞した感想を書き、全体で意見を共有する ・楽譜の記号の確認 ・前回より、どんな表現を意識して歌ってみたいかをペアで考えさせる ・まとめて、考えて貰った表現を元に最後に歌う ・感想の記入
------------------	--

8. 本時の目標

表現について考える場面で、楽譜に書かれている速さや歌い方に関する記号を主人公の心情と結びつけて想像し、積極的に話し合い共有する。鑑賞をする場面で、カレーラスの表情や演奏から切なさや愛しさを感じ取り、言葉で表現することによって、自分たちの演奏をさらに深める。

9. 題材について

題材観

〈Caro mio ben〉は声楽を習い始める時に多くの人が練習する曲であるため、比較的取り組みやすいイタリア歌曲である。この曲を通して、装飾音符の歌い方や r の巻き舌を意識し、楽譜に書かれている強弱の変化から主人公の心情のゆれを感じ取らせたい。そして言葉で表現しそれらを共有し合うことにより、豊かな歌唱表現を身につけさせたい。

指導観

〈Caro mio ben〉を歌う時に、同じメロディーでも 12 小節目と 25 小節目のリズムの違いがあるので、リズムの違いを感じて歌い分けるように練習を進める。15 小節目からは曲調も変わるので、場面の变化に気づかせ、強弱の変化と歌詞の内容を結び付けて主人公の心情や主張を読み取り、文章や歌で表現する。

10. 生徒の実態

音楽Ⅲ 男子 6 人 女子 11 人 計 17 人

これまでにカンツォーネ、シャンソン、リートを学習済みである。3 年生ということもあり、知識・技能が高く、一人ひとりがしっかりと意見を持っており、活発に話し合いを行える。男女共によく響く歌声で、とても明るい印象の講座である。

生徒の感想より

○音程・リズムについて

- ・歌いやすかった
- ・装飾音符がつくと華やかになるが、音程が取りづらい

- ・3 連符が難しい
- ・音が高くて歌うのが難しい
- ・12 小節目と 25 小節目のリズムが似ているようで違うので難しい

○歌詞について

- ・相手への気持ちが重い歌詞だが、良いなと思った
- ・巻き舌が難しい(特に歌っている時)
- ・歌詞を追うことが大変

○表現について

- ・強弱などをつけて歌うと楽しそう
- ・クレッシェンドやデクレッシェンドをつけて歌いたい

○曲全体について

- ・初めて聞いた曲だったが歌いやすかった
- ・曲調がとても好きなので、早く歌詞をつけたい(1 時間目の時点)
- ・歌うより歌われたい曲だなと思った

11. 評価の観点

	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞
観 点	〈Caro mio ben〉を通してイタリアの文化について知り、イタリア語の歌詞の意味を調べようとしたことができる。歌詞の内容を想像しようとする。	歌詞の内容を深めていく中で、場面を想像したりどんな気持ちが込められていたりするか、自分の経験と結びつけて考えることができる。また、楽譜に書かれていることにはどんな意図があるのかを考えて言葉で表し、近くの人と話し合える。	「Caro mio ben」の歌詞の内容を理解し、イタリア語の発音を正確に行うことができる。音程を正確に取ることができる。(1 オクターブ下に下げて歌っても良い)	ホセ・カレーラスの演奏を鑑賞して、場面ごとによる表情の変化や装飾音符の歌い方の違いなどに気付く。違いや変化を言葉で表すことができる。

11. 本時の展開

	学習活動	授業の流れ、授業者の発問・発言	指導上の留意点・評価について	時間
導 入	1. 挨拶・出欠 席確認	「これから授業を始めます。よろしくお願いします。」 「今日で私が担当させていただく授業は最後になるので、曲想表現と鑑賞を中心に最後のまとめをしていきたいと思います。」 「それでは、まず出席を確認したいと思います。」 ・一人ずつ確認していく	* 前回休みだった人がいる場合は前回のワークシートを準備しておき渡す	5
	2. 前回の振り返り	* ワークシートを配布 ・ 前回の内容を生徒に問う 「前回の復習をするので、ワークシートを見てください。前回はどんな内容の授業だったか覚えている人はいますか？何となくでもいいので思い出してみてください。」 ・ 生徒に指名はせずに、振り返る	* 前回の内容の確認をする際にただワークシートを読むのではなく、生徒にも問いかけてみる * r の巻き舌を意識して行えるように「とろろ」で少し練習する	
	3. 歌詞をつけて歌う	・ 復習で歌詞をつけて歌ってみる 「前回は歌詞をつけて〈Caro mio ben〉を歌いました。復習として、はじめに歌ってみたいと思います。それでは、いつもと同じように距離を取って立ちましょう。」 ・ 「音程は皆さんばっちり取れているので、r の巻き舌を意識してもう一度歌ってみましょう！」	* 間奏の後に生徒たちが入りやすいように合図を入れるようにする	8
展 開	4. 音楽表現記号・イタリア語の意味について	・ 楽譜の調号や音楽表現記号、イタリア語の意味の確認をする 「楽譜に書かれている音楽表現の記号の意味を確認していきたいと思います。教科書の p.60 を開いてく	* 教科書に記載のある音楽表現記号を中心に確認する * 速度に関するものなど	8

		ださい。」 ・ p.60 を開かせ、ペアで確認させる (時間があれば生徒を指名し、答え合わせをさせる) ・ portamento は教科書には記載がないので、タブレットで調べさせる ・ イタリア語の意味はタブレットを使って調べさせる	探すところは知らせる * イタリア語の意味はタブレットを使って調べさせる	
	5. 表現についてペアで話し合いをし、考えさせる	「自分の経験と結びつけて表現してもらいたいなと思い、前は皆さんの恋愛について書いてもらいました。今日は、さらに曲への理解を深めてもらうために楽譜にかかっている記号でどんな気持ちを表現しているのかを話し合ってもらいたいと思います。」 ・ 列またはペアごとに考えさせる箇所を指定する ・ 生徒から出た意見や考えをまとめる	* 話し合いの時になかなか進まなそうなところに入り、ヒントを与える * 机間指導の際に積極的に生徒の意見に触れたり、質問をしたりする	12
	6. 男声の〈Caro mio ben〉を鑑賞する	・ 鑑賞をする 「では、今見ている楽譜でホセ・カレーラスという世界 3 大テノール歌手の一人が歌っている動画があるので鑑賞してみましょう。場面ごとに変わる表情や装飾音符の歌い方の違い、歌詞の発音の仕方などに注目して観てみましょう。」 ・ 鑑賞をして、感想を書いてもらい、意見をまとめる ・ 同じ曲でも色々な調号や装飾音符の歌い方、表現の仕方などがあることを生徒に伝える	* 鑑賞の際に、どんなところに注目して観てほしいか、聞いてほしいかなどを提示し、具体的な意見が出るようにする	10

終 末	7. 最後のまとめとして歌う	「それでは、音楽記号の確認や鑑賞を通して曲への理解を深めることのできたので、最後にまとめとして歌いたと思います。最初のように広がってください。」 ～移動～ 「マスクで見えづらいけど、カレラスのように愛しさや切なさを表情で表現したり、rの巻き舌を意識したりして歌ってみましょう。」	* 鑑賞や調べたことを意識して歌うようにポイントにしたいことの声をかける * 最後に1回通し、まとめとする	9
	8. 感想を記入させる	・ 感想やまとめの記入 「最後に感想を記入してください。」 ・ 授業をまとめて感謝を伝えて授業を終わらせる 「時間になったので終わりにしたいと思います。皆さんと一緒に〈Caro mio ben〉を学ぶことができて楽しかったです。最後まで授業を聞いてくださってありがとうございました。」	* 3回分のまとめと共に、生徒に感謝の想いをしっかり伝える	3

Caro mio ben

Tommaso Giordani 曲

(1730 年～1806 年)

年 組 氏名

【前回の復習】

- ・ r の巻き舌を意識して歌詞をつけて歌った
- ・ 母音にはさまれている r は巻かない、子音と母音にはさまれている r は巻く
- ・ 恋人や映画の登場人物、好きな芸能人など愛しい人への想いを込めて歌ってみよう

【前回の授業の感想より】

- ・ 巻き舌が難しい(特に歌っているとき)
→ 「とろろとろろ」で一緒に練習してみよう！
- ・ 3 連符が取りづらくて難しい
- ・ 誰かを思って歌ってみたい(感情移入して歌いたい)

【楽譜に書かれている音楽記号とイタリア語の意味を確認しよう】

○音楽記号

- | | | | |
|--------------|-------|--------------|-------|
| ① Larghetto | _____ | ③ rit. | _____ |
| ② portamento | _____ | ④ portamento | _____ |

○イタリア語

- | | |
|---------------|-----------------|
| ① 「Caro」 … | ③ 「languisce」 … |
| ② 「credimi」 … | ④ 「Cessa」 … |

【表現について考えよう！】

○次の2か所の表現について考えよう

[1] *p*  **appassionato** 
Il tuo fedel Sospira ognor Cessa crudel tanto rigor

(15 小節目～19 小節目の2拍目まで)

[2] 22 小節目からの *pp* の Caro mio ben と *mf* の Credimi almen と、26 小節目からの *f* の Caro mio ben と *p* の Credimi almen の強弱の変化

氏名 _____

【鑑賞をしよう！】

- ホセ・カレーラスの演奏を聴いて感じたことを書いてみよう
(装飾音符の歌い方や、表情などに注目して見てみよう)

【感想・まとめ】

Caro mio ben

Tommaso Giordani 曲

(1730 年～1806 年)

○歌詞カード

カロ ミーオ ベン クレーディミ アルメン

Caro mio ben, credimi almen,

(いとしい女(ひと)よ、せめて私を信じてほしい。)

センツァ ディ テ ラングイッシュ イル コール

Senza di te languisce il cor.

(あなたがいないと心がやつれる。)

イル トゥオ フェデール ソスピーラ オニョール

Il tuo fedel sospira ognor.

(あなたに忠実な男はいつも溜め息をついている。)

チェッサ クルデール タント リゴール

Cessa, crudel, tanto rigor!

(やめておくれ、惨い女よ、そんなつれなさを。)